

いしや先生

町おこし映画顛末記

▶11

あべ 美佳

さあ、2014年。我々の辺地に生涯を捧げた神様の取り組みにとって勝負のような人、というイメージが始まった。ここから一年が始まった。ここから半年間の動きで、官民一体となった町おこし映画が本当の実現できるのかどうか、ひとつの答えが見えるだろう。最近、こんなことを思う。「志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会」の歩みは、そのまま志田周子の人生に重なっているようだ、と。……なして良かった、と。

その話をする前に、まずは皆さんに、周子先生の知られざる一面をお伝えしよう。

志田周子といえば、結婚もせず子も産まず、無医村

の辺地に生涯を捧げた神様のような人、というイメージが始まった。ここから一年が始まった。ここから半年間の動きで、官民一体となった町おこし映画が本当の実現できるのかどうか、ひとつの答えが見えるだろう。最近、こんなことを思う。「志田周子の生涯を銀幕に甦らせる会」の歩みは、そのまま志田周子の人生に重なっているようだ、と。……なして良かった、と。

先駆者の人生は面白い

人前では絶対へ口へ口しないが、一人になったとたん雪の中にヨロヨロどぼんと

婆ちゃんが縁談を持ってきても「私にはまだ早いっす」と断る。……な、めんこい

最初はためらったらしい。だが、町の女性たちに推されて結局は立候補した。お

なこは外に出るな。口出すのは大変なことだ。先駆者

（脚本家・作家、尾花沢市出身）

11月1回掲載します



なエピソードがある。あまり知られていないが、志田周子は女性初の村議会議員だった。1947年(昭和22)のことである。医師の仕事だけでも寝る暇がないのに、議員なるといえる。周子は立ち上がり、議事録を記入する予算が無駄だと言つたら、今、皆が飲んでるこの酒代はどうなんだ？ まずは議会のたびに大酒飲むのをやめたらどうだ？と。……ありやいや、おつかねえこと。んでも、正論だ。

ある日の議会にて。診療所です。往診用の自転車を買ってほしいと周子は提案した。片道7キロも歩いて往診する日々、自転車があれば夏場だけでもどれほど助かるか。すると赤い顔をした男性議員たちに「そんな無駄な予算は出せない」と一斉に攻められた。周子は立ち上がり、議事録を記入する予算が無駄だと言つたら、今、皆が飲んでるこの酒代はどうなんだ？ まずは議会のたびに大酒飲むのをやめたらどうだ？と。……ありやいや、おつかねえこと。んでも、正論だ。

ある日の議会にて。診療所です。往診用の自転車を買ってほしいと周子は提案した。片道7キロも歩いて往診する日々、自転車があれば夏場だけでもどれほど助かるか。すると赤い顔をした男性議員たちに「そんな無駄な予算は出せない」と一斉に攻められた。周子は立ち上がり、議事録を記入する予算が無駄だと言つたら、今、皆が飲んでるこの酒代はどうなんだ？ まずは議会のたびに大酒飲むのをやめたらどうだ？と。……ありやいや、おつかねえこと。んでも、正論だ。